

活動情報

取組項目	体制整備構想の策定		
組織名	三区町環境保全隊	那須管内	那須塩原市

活動目的：体制整備構想(案)の具体的実現に向けてアンケートの実施

「体制整備構想(案)」、「将来展望を実現するために取組む具体的方策」を実現するための主たる課題は、この農地・水・環境保全向上対策事業の終了後も継続して活動するための「NPO法人化とアドプト制度」について理解を深め、組織化することである。現在、運営委員の研修や自前の勉強会を進めているが、肝心の地域住民が、「活動の継続」に対してどう考えているのかを把握することが重要であることから、体制整備構想で定めた「22年度の活動計画」に沿ってアンケートを実施した。

今回は、アンケートの内容と地域住民を対象に実施した場合の回答率を上げることも考慮し、9月4日に実施した茨城県の先進地視察研修参加者(41名)を対象として試行的に実施した。

- 設問は、
1. 三区と聞かれて何を思い浮かべますか(複数回答)
  2. 三区の良いところは(複数回答)
  3. 農地・水・環境保全向上対策は24年3月で終了します。現在、NPO法人化等により組織の継続を検討しています。組織を継続した場合、皆さんは活動に参加しますか。(組織が継続されても花苗等の資材購入等の助成金交付は考えられますが、日当の支払いはなくなります)
  4. 10年後の三区はどうなっていると思いますか(複数回答)

ポイントは、自分の住む地域の再発見と良いところをさらに良くするための共通認識 将来に対する思い 活動を継続した場合の参加意識

今回の調査結果は、問1.では那須疏水が70% 問2.人と人とのつながりがある 44%  
 問3.活動継続で参加する 46%(活動内容によって参加するを含めると 83%)  
 問4.地域のまとまりが強くなっている、ホタルが飛んでいる、農村の自然が守られている、高齢者と若い人達が一緒に頑張っているがほぼ同じ割合

今回の調査は、活動に積極的に参加する人達が対象であることから、活動継続に対しては高い割合とり、活動の継続に多少なりとも期待できることが分かった。今後、一度でも活動に参加した住民約250名を対象に実施し、全体としての動向を見極めたいと考えている。

